



## 転機を…好機に！

人がこの世に生を受け一生を終えるまでの間に、その長さには関係なく、たくさん  
の転機があります。望むか否かに係わらず訪れる、入学や卒業などという転機。  
待ち望んで訪れる、結婚や出産などという転機。全然望んでいないのに、突然訪れ  
る様々な困難といえる転機。できることなら、誰もが、日々何事もなく平穏な日常  
を送りたいと願っているに違いありません。しかし、それでも転機は訪れるのです。

### ❖田代図書館の転機！

旧田代町では、昭和51年町制20周年にコミュニティーセンターが建設され、  
その中にはじめて公民館図書室が設けられました。当時の蔵書は約二千冊。その後  
蔵書も五千冊近くまで増え、コミュニティーセンターの一室では狭くなり、「町民  
の読書意欲の向上が、町の文化水準を高める」として、単独の建物を望む声が高ま  
り、昭和55年1月田代町立図書館が誕生しました。当時、町立で単独の建物とし  
ては県内初めての図書館でした。開館当時の蔵書冊数は約一万千冊で、公民館図書  
室の約2倍になり、ちょうど当時の町の人口を少し上回る本が備え付けられたので  
す。その後、平成8年には県内でもあまり実施されていなかった、午後7時まで開  
館という開館時間延長を開始しました。

平成17年には市町村合併により大館市立田代図書館となり、図書館システムが  
導入され、このことにより市内4館間の壁は取り除かれ、全館の資料が自館の資料  
と同様に利用できるようになったのです。

そして、平成25年指定管理者制度導入により、市直営から一般財団法人大館市  
文教振興事業団の運営となり現在に至っています。田代図書館としての転機は幾度  
もありましたが、その都度利用しやすく、住民のニーズに応えるよう進化してきま  
した。

これからも私たち図書館員は、日常の仕事の中にある様々な転機をつかまえ、好  
機に転じられるよう努力し、より良いサービスを提供していきたいと思えます。

### ❖図書館好き、読書好きになる転機！

長く図書館員として働いていると、大きなお腹で本を借りに来ていた妊婦さんが  
出産し、今度は赤ちゃんを連れて来館され、その赤ちゃんが、小学生、中学生、高  
校生となる過程にお付き合いさせていただくことがあります。小さいうちからお母  
さんと一緒に図書館を利用していた子どもたちは、学年が進み、部活や学業が忙し  
くなっても、時間をみつけて来館してくれます。

子どもを読書好きにするには、いつも本がそばにある環境を小さいうちからつくってあげることだと、図書館を利用する親子を見ていて痛感させられます。しかし、「うちの子全然本読まない。」とか、「なんとかして、読書好きな子にしたい。」とお考えの親御さん・・・今からでも大丈夫です。図書館がお手伝いします。お子さんを一度図書館に連れてきてください。そのときが、お子さんを本好きにさせる転機です。そして、チャンス（好機）です。スタッフ一同皆様のご来館をお待ちしております。（田代 安部）

❀今日も来ますキッチンカー！！

今月、これからのキッチンカーの予定は、11日、15日、22日、23日、25日です。涼しくなればお弁当も復活しますので、ご利用ください。（保）